

令和7年度「いわて子どもあそび隊」事業活動報告

事業の経緯・目的

「いわて子どもあそび隊」は、東日本大震災被災地の児童館・子育て支援施設（以下、「現地施設」）や、現地のこどもたちを対象に、「あそび」を通じて支援活動を行うことを目的に、岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会が、平成23年度に開始した事業であり、現在まで継続的に支援活動を展開してきました。

震災当初は、現地施設や避難所を定期的に訪問していましたが、支援団体の集中による現地の負担や、「日常に戻したい」との声を受け、現在は現地施設からの要請に応じて訪問する形に移行し、「必要なときに、必要な人に、必要な支援を！」をモットーに活動を続けています。

今後、再び大規模な災害が発生した際には、専門的な知識を持つ児童館等の職員や現地施設支援の経験者によるこどもの視点に寄り添った支援が求められると考えられます。

そのため、「いわて子どもあそび隊」では、現地支援の継続に加え、県内の児童健全育成に関わる人々

が、ゆるやかなネットワークを築き、情報交換を行いながら、「あそび」を通してこどもたちを支える体制づくりを目指しています。

事業内容

「いわて子どもあそび隊」では、こどもたちの心に寄り添う「あそび」の支援を、さまざまな形で展開しています。

1 現地施設訪問活動

沿岸地域等の現地施設やコミュニティセンターを訪問し、手作りおもちゃの工作、手遊び・ふれあい遊び、レクリエーションや運動遊びなどのプログラムを提供しています。

こどもたちと自由に遊ぶ時間も大切にしながら、現地施設のニーズに応じた活動を行っています。

2 いわて子どもあそび隊の森主催

「あそびコンビンニ」への参加

岩手県立児童館いわて子どもの森が主催する地域共催型移動児童館事業「あそびコンビンニ」に参加し、工作などの遊びのブースを

出展します。

3 おうえん隊（あそびのキットの作成・提供）

現地施設を直接訪問することが難しい内陸の児童館等が、「あそびコンビンニ」や現地施設訪問活動で使用する工作キット（あそびのキット）を作成し、間接的に支援を行います。

令和7年度の活動実績・報告

令和7年度は、現地施設8か所（大船渡市、久慈市、宮古市、釜石市）を訪問したほか、「ふれあいランド祭」（9月）において開催された「あそびコンビンニ」に出展しました。

令和7年度の現地施設訪問活動について、遊びのプログラムごとに活動の様子を報告します。

1 工作（手作りおもちゃ）

訪問先

（大船渡市）

キッピン学童クラブ

放課後児童クラブりょうりキッズ

（宮古市）

津軽石学童の家

こどもたちが自ら作って遊ぶことができる手作りおもちゃのプログラムを実施しました。

こどもたちは、おもちゃに絵を描いたり羽根をつけたりと、思い思いに工夫しながら夢中で取り組み、できあがったおもちゃで楽しく遊ぶ姿も見ることができました。

うまく作れず何度も挑戦する子や、新しい遊び方を自分で発見する子もいて、創造力と集中力が光る時間となりました。



キッピン学童クラブ（大船渡市）

2 手遊び・ふれあい遊び

訪問先

(大船渡市)

末崎学童保育会 希望の丘

大船渡市社会福祉協議会つどいの広場

本つどいの広場では、こども同士でゲームとして楽しめる手遊び・ふれあい遊びを展開しました。

じゃんけん遊びやお手玉など、よく知られた遊びでも、ルールを少し工夫することで新たな楽しさが生まれ、こどもたちが夢中になる様子が見られました。

また、小さなお子さんがいる親子を対象としたふれあい遊びでは、歌に合わせた手遊びや指人形を使ったわらべ歌など、こどもたちと保護者が一緒にリズムに乗って楽しみ、温かな交流の機会となりました。



大船渡市社会福祉協議会つどいの広場(大船渡市)

3 レクリエーション・運動遊び

訪問先

(久慈市) 放課後児童クラブ

COCO・Rたんぽぽ

(大船渡市) 大船渡保育園

(釜石市) かまいしこども園

レクリエーション・運動遊びについては、放課後児童クラブ、保育園及びこども園で幅広い年齢層のこどもたちが運動遊びを楽しむことができました。

放課後児童クラブでは、体育館や広場で、「島おに」「キャップおに」などの集団遊びを行いました。勝ち負けよりも「楽しむこと」を大切にすることで、初めは戸惑っていた子も次第に笑顔になり、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じている様子でした。

保育園やこども園では、シフォン布やバルーンを使った感覚遊び、障害物走やマット運動など、こどもの発達に合わせ、身体を使った多彩なプログラムを実施しました。

音楽に合わせた体操で体をほぐした後、こどもたちが元気いっぱい走り回り、歓声が絶えない時間となりました。

プログラムの終わりには「またやりたい!」という声が多く聞かれ、こどもたちの満足そうな表情が印象的でした。



かまいしこども園(釜石市)

皆様の協力

当事業の活動は、岩手県立児童館いわて子どもの森をはじめとした協力団体の皆様、個人でご参加いただいているあそび隊メンバーの皆様から、多大なご協力・ご支援をいただいております。引き続きこれらの中で、令和7年度も現地施設の皆様のご希望に沿う実りある活動ができました。

協力団体・あそび隊メンバーの皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

これからの活動

令和8年度も、いわて子どもあそび隊事業はこどもたちに寄り添い、「あそび」の提供活動を続けてまいりますので、今後とも、何卒ご協力をよろしくお願い致します。

白石食品工業株式会社様による第58回社会福祉施設へのクリスマスケーキ贈呈式



白石代表取締役社長と
特定非営利活動法人 好望・怒
利用者 今野 紀理恵 さん

12月25日、白石食品工業株式会社から、毎年恒例のクリスマスケーキ贈呈式がふれあいランド岩手で行われました。

この取組は、同社の社会貢献の一環として昭和43年から実施されており、今年で58回目となります。

白石雄一代表取締役社長は、「ケーキを囲むひとときが、1年を振り返る楽しい時間になれば光栄です」と挨拶し、障害者生活介護事業所好望・怒の今野紀理恵さんが代表してケーキを受け取りました。今野さんは、「このように支えてくださる皆さまの、温かいお気持ち、私たちにとって大きな励みとなります。これを励みに、これからも笑顔で日々を過ごしてまいります」とお礼の言葉を述べました。

ケーキは、盛岡市近郊の児童福祉施設、障がい福祉サービス事業所等の49か所(1,500名分)に贈られました。